

12月 9-15日

詩編 119 編 1-56 節

124 番の歌と祈り | 開会の言葉（1分） 有田 悟 | 有川 聖七

神の言葉の宝

1. 「若い人はどうすれば清く生きられるだろう」（10分） 大谷 優志

いつも注意深くある。（詩 119:9。塔 87 11/1 18 ページ 10 節）

神の教えをしつかり守る。（詩 119:24, 31, 36。塔 06 6/15 25 ページ 1 節）

無価値なものから目をそらす。（詩 119:37。塔 10 4/15 20 ページ 2 節）



考えてみよう 「道徳的な清さを保つのに役立つどんなことを教えられているだろうか」。

2. 宝石を探し出す（10分） 米山 英行

詩 119 この詩編はどんな形式で書かれているか。どんな目的があると思われるか。（塔 05 4/15 10 ページ 2 節） 2 詩編 119 編の一つの要点は、神の言葉つまり神からの音信*ここではエホバからの音信のことであり、神の言葉である聖書全体の内容のことではありません。の価値です。記憶の助けとしてであると思われますが、筆者はこの歌をアルファベット順（アクロスティック/折り句）の形式にしており、全部で 176 の節がヘブライ語アルファベット順に配列されています。この詩には 22 の連があり、ヘブライ語の原文では、各連の八つの行が同じ文字で始まっています。この詩は、神の言葉、律法、諭し、道、命令、規定、おきて、司法上の定め、みことば、法令について述べています。この記事と次の記事では、ヘブライ語聖書本文に即した訳に基づいて詩編 119 編を考察します。過去と現在のエホバの僕たちの経験を思い巡らすなら、神の靈感によるこの歌をいっそう深く味わえるとともに、書き記された神の言葉 聖書に対する感謝が増すでしょう。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

(119:24) エホバの教えは私たちの助言者なのですが、常に適切な助言をいただくためには、
(119:11) エホバの言葉を宝のように心に蓄える必要がある。何度も強調されているが、日ごとに聖書を読んでじっくり考える具体的な方法を確立しなければならないと感じた。

3. 聖書朗読 (4分) 詩 119:1-32 (教励 第5課) 長谷川 貴史

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 布川 志津 愛込 1-4 大坂 典子

(3分) 家から家で。伝道中に道で会った人と会話を始める。 ([愛込 レッスン1 ポイント4](#))

5. 再び話し合う 水品 由美子 愛込 9-3 長谷川 裕美子

(4分) 家から家で。前回大切な人を亡くしたばかりだと言っていた人と会話をする。 ([愛込 レッスン9 ポイント3](#))

6. 話 (5分) [イ尋83](#) 主題: 誘惑に負けそうになったら (教励 第20課) 長谷川 瑛一

クリスチヤンとして生活する

[40番の歌](#)

7. 12月の「組織の活動の進展」 (10分) 動画を再生する。 有田 悟

8. 会衆の必要 (5分) 田中慶一

9. 会衆の聖書研究 (30分) 徹19章6-13節 浮田 蒼 朗読: 伊藤 勇一

閉会の言葉 (3分) | [21番の歌](#)と祈り 大谷 正

^ [\(詩 119:1-56\)](#) 非難されるところがない生き方をする人は幸せだ。その人はエホバの律法に従って歩む。 2 神の教え*を守る人は幸せだ。その人は心を尽くして神を探し求める。 3 不正を行わず、神の道を歩む。 4 あなたは命じた。命令を注意深く守るようにと。 5 私が揺らぐことなく*,あなたの規定を守ることができればよいのに! 6 そうすれば、恥をかかない。あなたのおきて全てをよく考えるから。 7 私はあなたの正しい法規*を学び、正直な心であなたを賛美する。 8 あなたの規定を守る。私を完全に見捨てないでください。 9 若い人はどうすれば清く生きられるだろう。あなたの言葉に従って注意深くあるならそうできる。 10 私は心を尽くしてあなたに導きを求める。私があなたのおきてからそれないようにしてください。 11 私はあなたの言葉を、宝のように心に蓄える。あなたに対して罪を犯さないため。 12 エホバ、あなたが賛美されますように。あなたの規定を教えてください。 13 私は知らせる。あなたが語った法規*全てを。 14 あなたの教えを喜ぶ。他のどんな貴重なものよりも。 15 あなたの命令をじっくり考え*,あなたが示す道を見続ける。 16 あなたの法令を大切に思う。あなたの言葉を忘れない。 17 私に親切を示してください。あなたの言葉を守って生きるために。 18 私の目を開いてください。あなたの律法にある